

③ 第3委員会

「名古屋の歴史をつなぐまちづくり」



それでは、第3委員会の意見を発表します。

第3委員会のテーマは、「名古屋の歴史をつなぐまちづくり」です。

このテーマについて考えるため、^{わたし}私たちは7月23日に名古屋市博物館の施設見学を行いました。

そこで、^{わたし}私たちは天正大判^{おおばん}を体感しました。大きくて重い金の輝き^{かがや}を保つ大判をつくった秀吉^{ひでよし}の権力^{けんりょく}はすごいと思いました。また、博物館の物を大切にし、人を楽しませる工夫が印象に残りました。博物館の展示、管理にはたくさんの努力と工夫がありました。管理面では、収蔵庫^{しゅうぞうこ}と監視室^{かんししつ}が大いに役立っていること、また、展示の面ではライトや作品の方向などにも細かな調整を施していることもわかりました。このことから、^{わたし}私たちのために歴史を伝えてくれていると思いました。

また、パノラマと三英傑^{さんえいけつ}のことは見たり聞いたりしました。パノラマという絵は、昔の人が想像^{そうぞう}して描いていたことに驚き^{おどろ}、三英傑は3人とも出身地^{ちが}が違うのに名古屋にかかわりがあるのも驚きました。

その後、私たちは施設見学をしてわかったこと、思ったこと、感じたことをもとに、名古屋の歴史を未来につないでいくためには何をすればいいか考えました。

それでは、^{わたし}私たちが考えたことを順番に発表します。

○子ども議員

私^{わたし}が博物館で一番印象に残った工夫は、収蔵庫^{しゅうぞうこ}の温度管理です。武器^{ぶき}やお皿などの大切なものが傷^{いた}まないように年中エアコンを20度に設定^{せってい}しているのです。

また、盗^{ぬす}まれないようにたくさん鍵^{かぎ}もかけられています。そうすることによって昔とこれからの名古屋の歴史をつなぐまちになり、未来の人たちにも昔の生活がよく伝わ^{つた}わると思うので、とてもすごいと思いました。

○子ども議員

学校などで積極的に博物館に行き、見るだけでなく、名古屋の歴史を体感できるコーナーを設^{もう}けるといいと思います。

博物館では盛大^{せいだい}なイベントや出張^{しゅつちやう}イベントをつくり、小さい子どもから大人まで歴史を学べるようにするといいと思います。

病気などで家から出なくても学べるように、歴史を勉強するウェブサイトをつくる。地元の歴史人物が覚えられるように、小学校3年生ごろから名古屋の歴史を勉強^{じゅぎやう}する授業をつくる。

○子ども議員

^{わたし}私は、博物館に行ってパノラマが一番印象に残りました。パノラマは昔の人が土地を上から見たように^{そうぞう}想像して^か描いた絵が、^{ゆか}床に^か描いてありました。^{わたし}私は、その絵が^か描かれた当時、上から風景が^{みわた}見渡せられるような^{ぎじゅつ}技術はなかったので、その人が^{そうぞう}想像して^か描いたとは思えませんでした。

^{わたし}私は、名古屋の歴史をつなぐには、実物を^{てんじ}展示するだけではなく、それがどのようにしてつくられたのかも伝えたいと思います。

○子ども議員

歴史をつなぐには、自分でできることと、ボランティアの人たちが参加してできることの二つに分けることができます。

自分でできることには、図書室や学級文庫などの人目につくところに歴史の^{まんが}漫画や名古屋の歴史に関連する本を置くことや、カルタをつくって休み時間や^{じゅぎょう}授業の^{いっかん}一環として対決や大会を開いたりすることなどがあります。

ボランティアの人が参加してできることは、博物館の人や昔の名古屋をよく知る人に土器や^{しりょう}資料を借りたり、歴史を話してもらったりすることなど、ほかにもできることはたくさんあります。

このように、歴史とよく^ふ触れ合うことで歴史はつなげると 생각합니다。

○子ども議員

博物館は宝^{たから}の山でした。温度、湿度^{しつど}、明るさに気を配っていて、大切に保管^{ほかん}されていました。

僕^{ぼく}たちは宝^{たから}が大好きです。何かテーマを決めて宝探し^{たからさが}をしながら名古屋^{おわり}尾張地方の勉強ができると、もっとたくさんの人が足を運んでくれると思います。

ロビーのロダンが博物館を映像やレーザーなどで案内してくれると楽しそうです。展示品^{てんじ}の時代や暮らし^くを、体験コーナーや映像^{えいぞう}を使ってそれぞれの説明があると、タイムスリップした感覚になれると思います。

1カ所だけではなく、タイムマシンに乗っている感覚で回れると、貴重^{きちょう}な展示品^{てんじ}にも命^ふが吹き込まれる^こと思います。ものづくり名古屋だからできる新しい博物館を見たいです。

○子ども議員

私^{わたし}が一番印象に残ったことは、監視室^{かんし}です。監視室^{かんし}にはたくさんのボタンがあって、エレベーターが何階にいるのかなどがわかってすごいなと思いました。監視室^{かんし}には、エレベーターがいつとまってしまうかわからないから24時間ずっと人がいます。博物館に来た人の安全を守るための監視室^{かんし}だなと思いました。名古屋の歴史をつないでいくには、たくさん^{かんし}の人の努力が大切だと思いました。

○子ども議員

^{わたし}私は、名古屋の歴史を残すためには、^{わたし}私たちが名古屋の歴史を守り、次の世代の人に名古屋の歴史をたくさん教えられるように^{わたし}私たちがたくさんの歴史を知り、次の世代の人に^{わたし}私たちが知っている歴史を細かく教えられるようにすればいいと思いました。

○子ども議員

^{ぼく}僕は博物館に行って天正大判^{おおばん}を見ました。そこで、まず持つ体験ができました。そのほかの場所でも体験することができます。

また、小さい^{ようじ}幼児やおばあさん、おじいさんにも楽しく学ぶことができるようになっていました。もっと名古屋の歴史を知れたらいいと思いました。



○子ども議員

博物館で見たものを未来に残していくには、たくさんの人に見てもらったり感じてもらったらいと私^{わたし}は考えました。たくさんのイベントをしたりして、誰^{だれ}でも気軽に行けるところをつくって、お年^よ寄りから子どもまで楽しめるようにしたらいいと思います。また、博物館ではふだん見られないようなところなどを土曜日、日曜日を中心に開くと、みんなが興味^{きょうみ}を持って見に来てくれると思いました。

○子ども議員

子どもから高齢者^{こうれい}まで、誰^{だれ}でも興味^{きょうみ}を持って楽しく見学できるといいと思います。そのためには、歴史^{きょうみ}に興味のない小さな子どもも興味^{きょうみ}を持ち、楽しめるような工夫がたくさんあるといいと思います。博物館では、クイズや体験コーナーを实际^{じっさい}に見てさわることができます。もっともっとたくさんの名古屋の歴史^{わたし}を私は知りたいと思ったし、いろいろな人から聞けたらいいなと思いました。人から人へ、名古屋の、そして日本の歴史をつないでいきたいと思っています。

わたし
私たち第3委員会は、このようなことが名古屋を「歴史をつなぐまち」
にするために必要だと考えました。

これで、第3委員会の発表を終わります。

■ ^{はしもと}橋本教育子ども委員長^{とうべん}の答弁

第3委員会の^{みな}皆さん、意見発表、本当にお疲れ^{つか}さまでございました。7月23日の博物館の見学、そして委員会での^{ぎろん}議論、それからきょうの意見発表に^{いた}至るまで、子ども委員長さん、そして子ども副委員長さんを中心に、しっかりと立派^{りっぱ}に完走されました。本当にすばらしかったと思います。

実は、^{わたし}私^{みな}たちも^{ごいっしょ}皆さんと3日間御一緒させていた
ただく中で、本当にたくさんのことを学ばせてい
ただくことができました。^{きたの}北野副委員長、そして^{こばやし}小林副委員長とともに
^{みな}皆さんにもお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。

さて、第3委員会のテーマは「名古屋の歴史をつなぐまちづくり」と
いう^{ひじょう}非常に^{むずか}難しいテーマだったというふうに^{わたし}私は思っていますけれど
も、きょうの^{みな}皆さんの意見発表を聞いていると、本当に3日間の間に^{けいけん}経験
したこと、そしてしっかりと話し合いをする中で、しっかりとそれを^{りかい}理解し、
自分なりの意見を一生懸命^{けんめい}まとめることができているなど、改めて感心
をいたしました。

^{みな}皆さんの意見の中にありました、より多くの人に歴史に^{きょうみ}興味を持って
もらいたい、よりたくさんのことを知ってもらって学んでもらうにはど



うしたらいいかと、こういった意見がたくさん見られました。これはとても大事なことで、素晴らしい意見だなというふうに思います。

なぜ歴史を学ぶ必要があるのか、これは私^{わたし}が思うに、歴史を学ぶのは、よりよい未来をつくるためではないかというふうに思います。例えば、この子ども市会。ことしでこの子ども市会は3回目を迎^{むか}えています。第1回、第2回という歴史がありました。その第1回、第2回の中で、それぞれうまくできたこと、あるいはうまくできなかったこと、こういったことを学んでいるからこそ、ことしのこの第3回、素晴らしいなごや子ども市会が開催^{かいさい}できているんだというふうに思っています。

今回、第3委員会の皆^{みな}さんと御一緒^{ごいっしょ}する中で私^{わたし}が考えた歴史をつなぐまちづくりというのは、古い絵画や天正大判^{おおばん}のような資料^{しりょう}を単^{ただ}に保管^{ほかん}し、現代や未来に残^{げんだい}していくというだけでなく、そこからさまざまなことを感じたり知ったりしたことをきちんと教訓にして、新たな歴史を持つまちをつくっていくことなのではないかなというふうに思っています。

先ほどの発表の中にもありました。名古屋尾張^{おわり}が生^{さん}んだ三英傑^{さんえいけつ}、織田信長^{おだ}、豊臣秀吉^{とよとみひでよし}、徳川家康^{とくがわ}、博物館でもこの3人にまつわるさまざまな資料^{しりょう}が展示^{てんじ}してありました。ぜひ、この偉大^{いだい}な先人の残した歴史についても多くのことを知り、感じ、学び、そこから得られるさまざまな教訓などを未来へつないでいていただきたいと思います。

そして、第3委員会の皆^{みな}さん、竹田委員長^{たけだ}を初めとする10名の皆^{みな}さんがその三英傑^{さんえいけつ}のつくった歴史の上に、さらに新たな歴史をつくり、いつの日か三英傑^{さんえいけつ}ならぬ十英傑^{じゅうえいけつ}などと呼ばれる日が来ることを期待^よしまして、私^{わたし}の答弁^{とうべん}を終わらせていただきたいと思います。3日間、本当にお疲^{つか}れさまでした。